

対象年度	令和 2年度	総合計画実施計画策定及び行政評価シート
------	--------	----------------------------

事務事業名	観光振興事業					予算事業名	観光振興事業費					
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
			07	01	05	1101	経常経費					
総合計画体系	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分	主要事業				
	3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興(観							担当課係等	商工観光課			
	①地域資源を活用した観光の振興 その他						観光係					
事業期間	継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
・地域資源及び広域観光を活用した観光振興を図る。・訪日外国人を含む観光誘客の推進及び観光振興による地域活性化を図る。・市内事業者の観光事業への取り組み強化を図ることにより、観光振興と地域活性化の相乗効果を目指す。						観光協会への支援を行う一方で基盤整備は自治体が担っているのが一般的である。また、近年においては、広域連携による観光振興も推奨されており、これに取り組む自治体も多い。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
・地域資源を網羅した観光パンフレット等を作成し、観光誘客のアイテムとして活用する。 ・地域資源の発掘・磨き上げを行う。 ・観光物産センターの充実及び販売促進を助長する。 ・姉妹都市などの関係都市のイベントのほか、シティプロモーション事業(産直市)に参加し、市のPR活動を実施する。						訪日外国人を含む観光客、市内商業観光事業者						
						【事業をとりまく環境の変化】						
						交流人口の増加や地域経済の活性化を図るための手段として「観光振興」が求められているほか、東京五輪の開催などを踏まえ、訪日外国人旅行者への対応も急務となっている。また、携帯端末の普及により、紙媒体からインターネットを最大限に活用した電子媒体での情報発信が主流となっており、これに関する基盤整備も喫緊の課題である。						
【令和 2年度 事業内容】			【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】						
商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。東京リハビリを踏まえた外国人観光客受け入れ体制の整備。 ・パンフ増し刷り ・観光型商店支援事業(観光セミナー等)			商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光型商店支援事業(観光セミナー等)			商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光型商店支援事業(観光セミナー等)						

■事業費

		H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	2,872	3,273			
歳 入 計 (千 円)		2,872	3,273			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千 円)	金額 (千 円)			
	08 報償費	170	480			
	09 旅費	237	326			
	11 需用費	1,537	1,508			
	12 役務費	11	29			
	14 使用料及び賃借料	465	478			
	19 負担金補助及び交付金	452	452			
歳 出 計 (千 円) (A)		2,872	3,273			
伸 び 率 (%)			13.96			
備 考	総合計画107ページ 予算書132ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	観光パソフレット配布数(観光協会事業を除く)	セット	目標	2,500.00	2,500.00	2,500.00
	長井市, 福井市, 刈谷市, 産直市など職員による観光PR時の観光パソフレット等の配布数 ※H28年度まで「観光大使派遣回数」としていたが同事業は協会事業のため変更		実績	2,000.00	0.00	0.00
	観光物産センター来館者数	人	目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	平成27年度途中より観光案内所機能が別施設に移転したため, 平成28年度の来館者数は買物目的の来館者に限定される		実績	5,453.00	0.00	0.00
成果 指標	観光客数(定点+施設+5祭事)	人	目標	180,000.00	180,000.00	180,000.00
	※観光動態調査(定点+施設)に観光協会主催の5祭事(桜まつり, 夏祭り中日, 盆踊り, 祭りゆうき, きものday結城) 入込者数を加えた数値を採用		実績	192,104.00	0.00	0.00
	観光物産センター売上額	円	目標	6000000.00	6000000.00	6000000.00
	観光物産センター販売実績額		実績	3789857.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	シティプロモーションの観点からも市全体の観光パソフレットや観光案内, 標識などの基盤整備は行政が担うべきと考える。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	将来的に観光地として成立し, 民間主導で観光振興が図られることを期待しつつ, 市内事業者が観光による収益を得られるようになるまでは行政が計画的に観光振興を進める必要があると考える。
	手段の妥当性	B どちらも言えない	正解がある事業では無いため, 現在ある地域資源を活用し, 推進可能な事業を行っていく。また, 観光キャンペーンについては観光協会事業との連携や棲み分けが必要であろうと考える。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	これまで配属された職員の技量が観光PRや観光事業に反映されており, 年度ごとに差が出ていたと考えられる。商業観光振興計画が策定されたので, 計画に沿った形で効率的に事業を進める。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	観光事業やイベントの内容によっては受益者が偏るものと考えているが, 蔵美館5周年記念事業のようにターゲットを絞り趣旨を明確にすることが地域性を出すための手段であることから致し方ないものと考えている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	イベント入込数や国内外の観光客数は増加傾向にあり, 大手旅行会社の旅行商品に取り上げられるなど成果は上がっているものと考えている。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	観光振興は地域の収益が上がり, 雇用を生み出せるようになるまでは, さらなる改善と事業推進が必要と考える。これには地域の事業者の意識改革に加え, 観光協会や物産協会の改革(統合も含めて)も不可欠であると考えている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し, 問題点・課題等を指摘してください			
イベント入込客数や観光客数は増加傾向にあり, 大手旅行会社の旅行商品に取り上げられるなど観光振興としての成果はあったと考えられ評価できる。 しかしながら, 観光パソフレット配布や観光案内などの情報発信, その他基盤整備は行政主導で行うべきだが, 最終的には民間観光商業事業者の意識改革が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
策定された商業観光振興計画において掲げている「稼げる観光」の実行が重要であり, SNSを活用した情報発信にイベント対策として多言語化を追加, 補助事業に関する情報収集とこれを活用した事業実施を進める。			

■方向性

1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 拡充(人・モノ・カネ等の拡充) <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続(改善・改革なし) <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 商業観光振興計画に基づき観光の振興を図っていくため事業方法を検討し効果をあげていくよう努力する。
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 拡充(人・モノ・カネ等の拡充) <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続(改善・改革なし) <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 上記評価のとおり。